



# ● 「売上減少」の回答が大幅増加

## ● 新型コロナで、売上9割減の会社も

新型コロナの全国的な感染拡大で、会員企業でも大きな影響が出始めています。先日行われた関東甲信越支部が行ったZOOM役員会での会員間の近況報告でも、売上、引合いの大幅ダウン、資金対策、社員、現場の感染予防対策、テレワーク推進など様々な報告が寄せられています。

今回のジェルリフォーム市場動向調査では従来の四半期の景況調査に加えて、全国の会員企業の新型コロナの影響、対策などについてお聞きしました。

今回は前回より多い46社からご回答を頂きました。ご協力感謝いたします。

新型コロナの感染拡大が想定されていなかった時であった。今回のアンケート結果を見ると年初の1、2月はまだ影響がそれほど見られなかった。毎回行っている基本事項の会員企業の社員数、売上高、平均粗利益率等については表の通りである。

従業員数では平均で男性が8.2人（前回10.7人）、女性が5.8人（前回6.0人）。年間売上高は平均で4億5,609万円（前回3億2,059万円）。平均粗利益率は28.6%（前回27.5%）であった。前回に比べ1ポイント上回った。

売上高の中央値は2億円、最頻値は8000万円、平均粗利益率の中央値、最頻値共に28%であった。

### 1. 会員企業の年商、社員数などについて

今回は、ご存知の通り新型コロナの緊急事態宣言が出された時にアンケート。前は消費税10%の影響と今年の見通しを聞いたが、新型コ

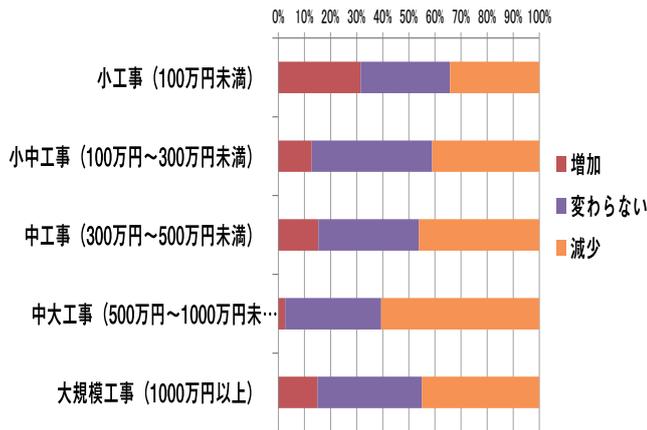
### 2. 会員各社の景況感について

四半期ごとの受注件数と受注金額の増減では、今年第1四半期[1-3月]期の実績と第2四半期

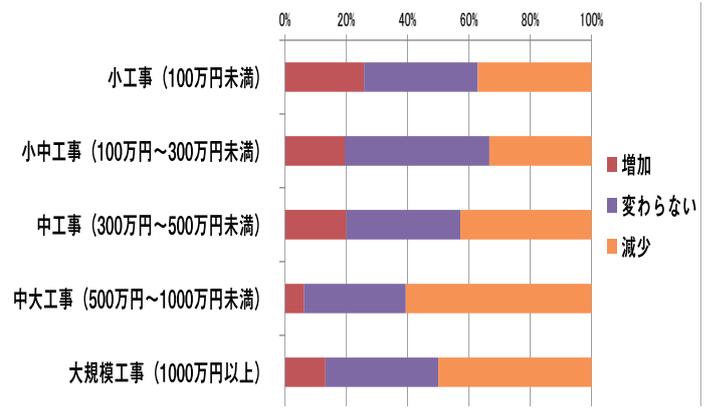
会員企業のプロフィール（年間売上高、社員数、平均粗利益率）

会社情報(平均)						
	第18回(H31.1)	第19回(H31.4)	第20回(R1.7)	第21回(R1.10)	第22回(R2.1)	第23回(R2.4)
男	14.4	14.9	14.9	11.8	10.7	8.2
女	7.9	9.2	10.9	7.8	6.0	5.8
資本金	2,569	2,503	2,595	2,738	2,108	2,074
年間売上高(万円)	54,731	97,100	77,926	72,075	32,059	45,609
平均粗利益率(%)	27.4	27.0	29.7	27.2	27.5	28.6
代表者年齢平均	54.3	46.5	55.0	57.9	56.0	55.9
中央値						
	第18回(H31.1)	第19回(H31.4)	第20回(R1.7)	第21回(R1.10)	第22回(R2.1)	第23回(R2.4)
男	5.0	5	4.5	5.0	4.5	4.0
女	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高(万円)	30,000	30,000	30,000	23,500	20,000	20,000
平均粗利益率(%)	28.0	27.0	30.0	28.0	28.0	28.0
代表者年齢平均	56	58.0	57.0	57.0	57.0	55.0
最頻値						
	第18回(H31.1)	第19回(H31.4)	第20回(R1.7)	第21回(R1.10)	第22回(R2.1)	第23回(R2.4)
男	5	4	2	3	4	4
女	3	1	3	3	2	3
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高(万円)	40,000	15,000	30,000	15,000	20,000	8,000
平均粗利益率(%)	30.0	20.0	30.0	30.0	30.0	28.0
代表者年齢平均	49	58	57	45	66	46

工事規模別の [1-3 月] 期の受注（受注件数）動向



工事規模別の [1-3 月] 期の受注（受注金額）動向



[4-6 月] 期の見通しを聞いた。

年初の [1-3 月] 期の実績は、受注件数では、前期に比べ「減少」したとする会員会社が 57.8% で、前期と同様 6 割近くに達している。「増加」した回答は 13.3% と一割前半に後退した。ただ受注金額では「減少」回答が 46.7% と半数近いが、「増加」したとの回答が 22.2% あった。

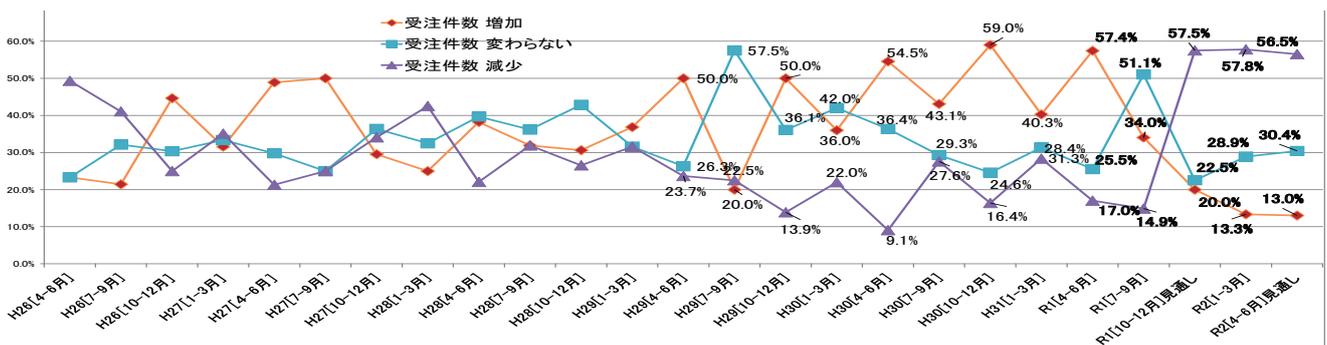
今期 [4-6 月] 期の見通しは、受注件数、受注金額共に前期と同様、「減少」とする会員会社が 50% を大きく超えている。春の需要期本番を迎えているが、新型コロナの緊急事態宣言により、外

出自粛、企業活動の停止、消費者マインドの冷え込みなど様々な要因から、長期にわたる厳しい見通しとなってきているようだ。

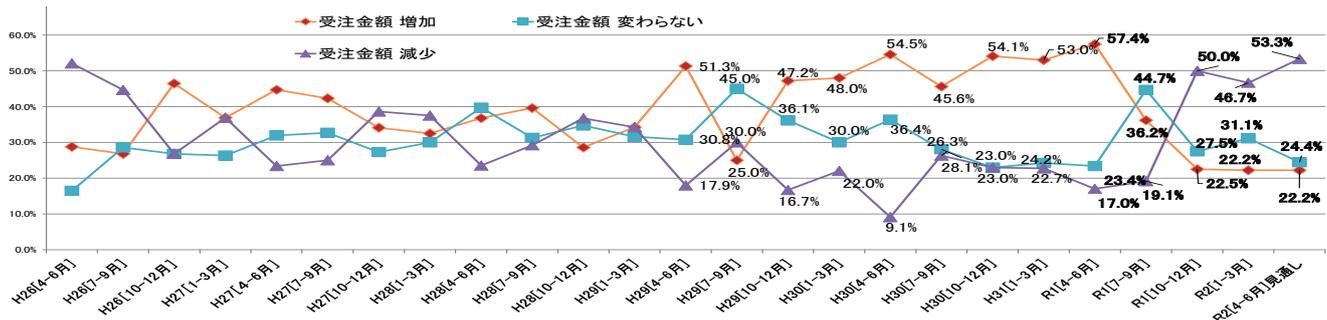
### 3. 増加、減少した工事内容

今年 [1-3 月] 期の「増加」・「減少」した工事内容としては、受注状況の厳しい「減少」を反映して、ほぼ全ての部位で「減少」となった。特にリフォームニーズのトップ部位である水回り等では「減少」が目立った。「減少」回答が「増加」

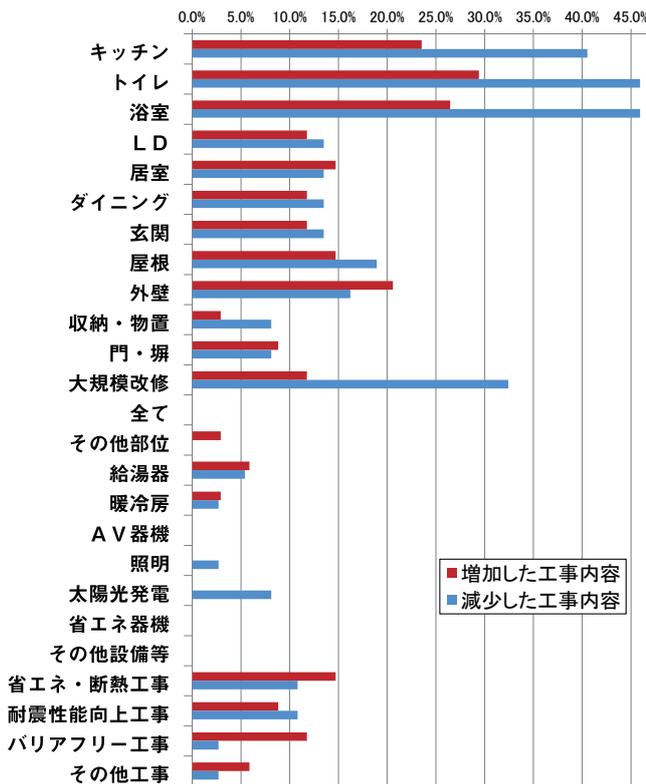
四半期毎の受注推移（件数）



四半期毎の受注推移（金額）



[1-3月] 期に増減した工事内容



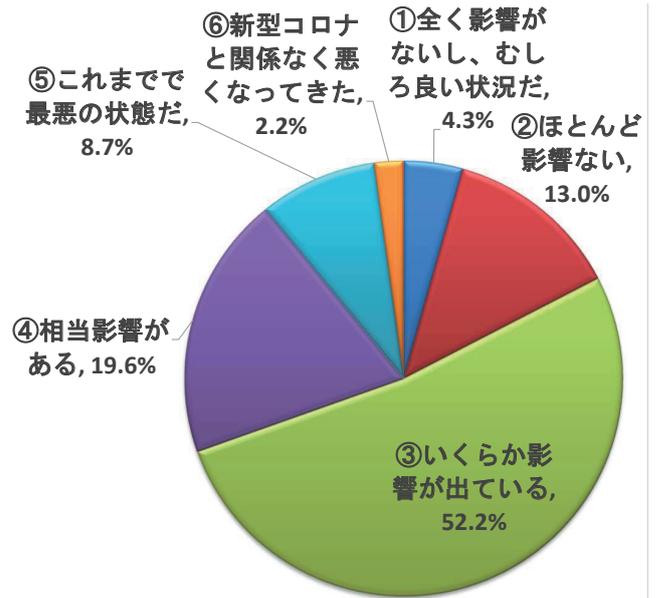
を大幅に上回ったのは、キッチン、トイレ、浴室で、それぞれ15～20ポイント程、「減少」の回答が「増加」を上回った。また大規模改修も増加の10%強に対して、「減少」が35%で大幅な減少を示した。

#### 4. 新型コロナのリフォームへの影響

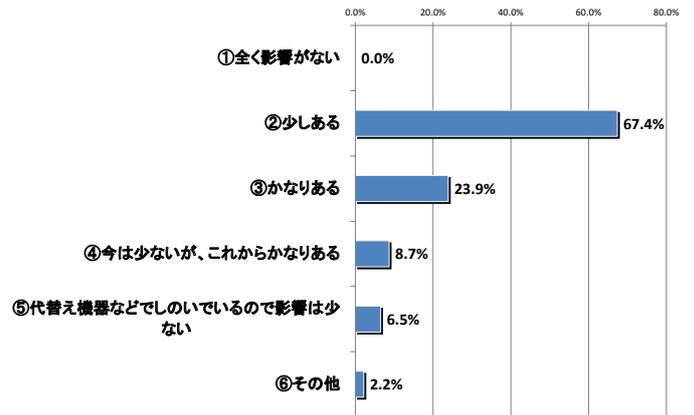
リフォーム業界にも大きな影響を及ぼしている新型コロナの感染拡大だが、この[1-3月]期の会員企業への影響はどの程度かを聞いてみた。一番多かったのは「いくらか影響が出る」が52.2%次いで「相当影響がある」が19.6%、また「これまでで最悪だ」が8.7%もあり、全体の8割以上の会員で業績の落ち込みを感じた。「ほとんど影響ない」は13.0%だった。

感染拡大が全国的に進んだ2月～3月の実績の落ち込みがどの程度だったかでは、昨年と同じ時期と比べて受注件数では平均で24.9%、受注高では平均で25.0%とそれぞれ相当に落ち込んでいる。個々の回答を見てみると、80～90%減との

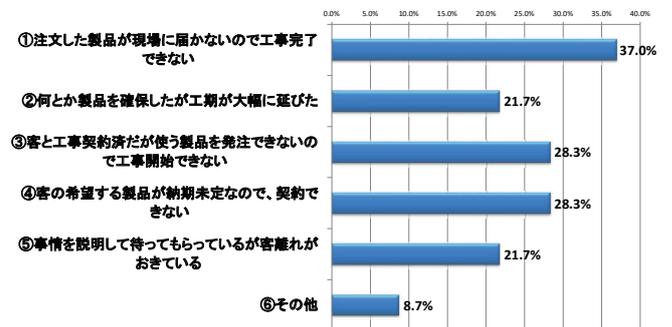
新型コロナの2、3月上への影響



設備機器等の納品遅れ、受注停止の影響



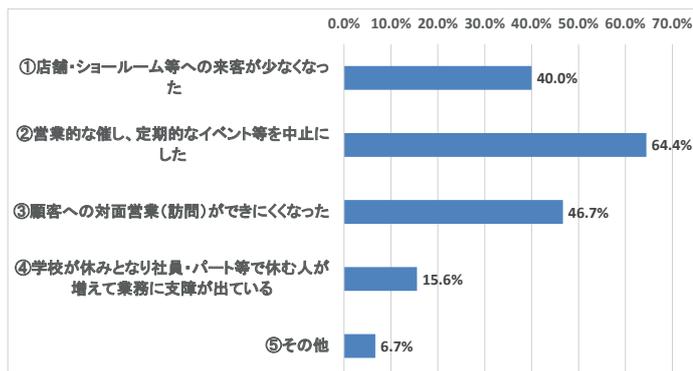
どのような影響があったか



回答が2社、40～60%減との回答が4社ほどあった。

中国での感染拡大の影響で設備機器等でメーカーの受注がストップしたが、会員への影響はどうだったかでは、「少しある」が67.4%、「かなり

## 新型コロナの感染拡大によるその他の影響は



ある」が23.9%で全体の8割となった。「全く影響がない」とした人はいなかった。どのような影響があったかでは、「注文した製品が現場に届かないので工事完了できない」が37.0%で最も多かった。次いで「客の希望する製品が納期未定なので、契約できない」、「客と工事契約済だが使う製品を発注できないので工事開始できない」が共に28.3%であり、製品の供給が止まったことで現場も営業も苦労したようだ。また「事情を説明して待ってもらっているが客離れがおきている」も21.7%で、今後の営業展開にも影響が出た形である。

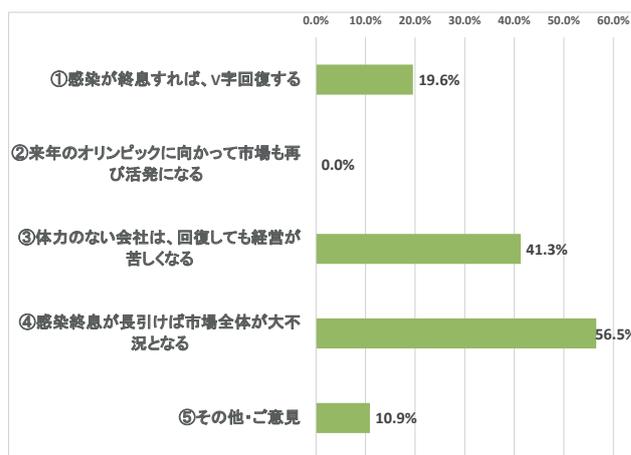
現場関係以外での新型コロナの影響では、「営業的な催し、定期的なイベント等を中止にした」が64.4%、「顧客への対面営業(訪問)ができなくなった」が46.7%、「店舗・ショールーム等への来客が少なくなった」が40.0%などで、特に営業分野にかかわる影響も大きな問題となったようだ。

## 5. リフォーム市場の見通し、あなたの会社の対策

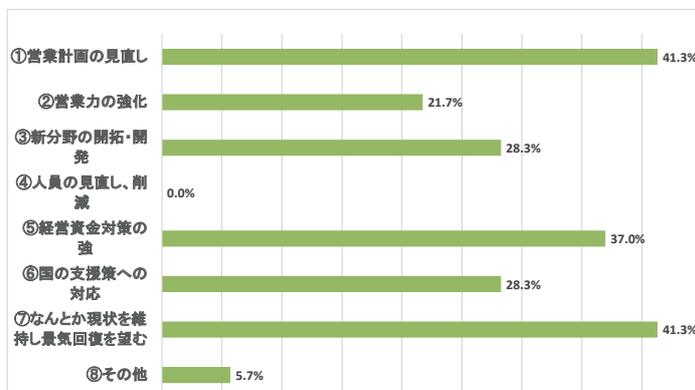
リフォーム市場でも営業、工事等の活動がしばらくの間休止・停滞することが予測されるが、ジェルコ会員の新型コロナという新たな事態に対する見通しなどを聞いた。

今後のリフォーム市場の見通しでは、半数以上の人が「感染終息が長引けば市場全体が大不況となる」(56.5%)と意識している。また「体力のない会社は、回復しても経営が苦しくなる」が

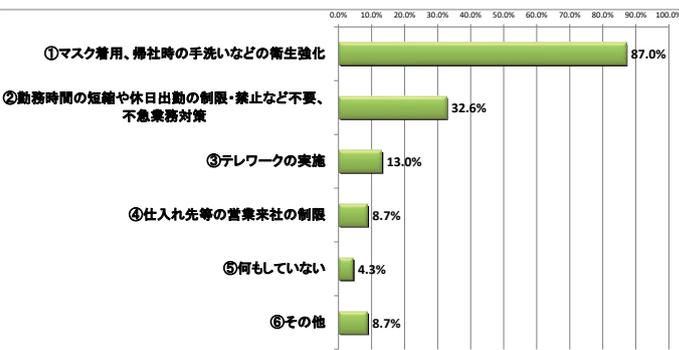
## 今後のリフォーム市場の見通しは？



## 会社の今後の対応は？



## 新型コロナ感染症対策として社内で行っていること



41.3%という認識であった。「感染が終息すれば、V字回復する」は2割弱であった。

こうした見通しに対して、どのような対策が必要かを聞いた。一番多かったのは「営業計画の見直し」、「なんとか現状を維持し景気回復を望む」の二つで共に41.3%。積極策と守りの策の二つに分かれた。次いで「経営資金対策の強化」が37.0%。また「新分野の開拓・開発」と「国の支援策への対応」の二つも共に28.3%で、こちらも

二つに分かれた。

感染症対策として社内で行っていることでは、最も多かったのは、当たり前ながら「マスク着用、帰社時の手洗いなどの衛生強化」で9割近くが実施しているようだ。「勤務時間の短縮や休日出勤の制限・禁止など不要、不急業務対策」は32.6%、「テレワークの実施」は13.0%でまだ多くないようである。

回答者からの意見などは次のようなものがあった。

■今後の見通しについては、

- ①工事が忙しくなるので、人を増やさないといけなくなると思います。
- ②予測はかなり難しい。
- ③作業の為、室内に入るのを嫌がられ無期延期となった現場も発生している。
- ④当面、新築は別として「リフォーム」という意識にはなかなか得ない状況と考えます。
- ⑤ピンチはチャンス。立ち止まっても何も始まらない。そしてまた「建築だけ」では絶対ダメ。

■今回の新型コロナウイルス感染症拡大、国の経済対策、業界、ジェルコでの対応にご意見等では、

- ①コロナの検査薬等を手に入れて自分でできると安心できます。島津製作所とかから発売されるみたいですが、ジェルコで手に入れて各社に売れないでしょうか。少し高めに売って利益をジェルコとしてコロナ対策のきふきんにしてはいかがでしょうか。
- ②この時期、成功事例等があれば知りたい。
- ③打ち合わせ等について、他、この期間の対策の情報共有ができたと思います。
- ④早くコロナ終息してほしい。
- ⑤まだ現場では感染者が発生していないが、どのように対策したら良いかわから無い。
- ⑥次世代ポイント制度の年度末までの延長、キャッシュレス・ポイント還元事業の延長、リフォーム所得税減税を建物の所有者でなくとも居住者であれば利用できるようにしてほしい。断熱

リノベ・次世代建材補助金の受付期間延長。

⑦どうせどこかからお金が出るので、いち早く国が企業に補填すべき。そうすれば従業員にも給与は支払える。ともかく阿部くんの決断が遅い。

⑧リモートワークの事例公開。